

3 人員確保闘争の推進

現在、公務職場全般においては、職員を募集しても応募が極めて少ない、あるいは応募がないという状態が広がっており、とりわけ専門職において顕著であり、急増多様化する福祉ニーズに対応する専門職や、社会資本の維持・管理に不可欠な土木・建築技師さらにはコロナ禍において保健・医療現場の慢性的な人員不足の中で行政運営を迫られている。

自治体行政の中心は対人社会サービスであり、住民と直接触れ合うことで、地域のニーズや困りごとを掘り、政策立案を行っており、地域のニーズが多様化・複雑化している現状や、い

つ起こるかわからない災害等への備えを踏まえると、公共サービスを支える担い手の確保は引き続き最重要課題である。

しかし、自治体の人員確保にあたっては、定員管理の課題は避けては通れない。定員管理とは、行政需要に応えるために必要となる職務や業務量に応じて、必要な職員を配置していくものであり、決して削減ありきで取り組むものではない。各自自治体の人員削減の実態は翌年度の地財計画に反映され、地方交付税総額を押し下げる要因となっている。行政需要に見合わない職員削減路線から脱却し、地域の将来を展望した上で、自

治体運営に必要な人員と財源を要求していく意識転換が求められている。

そのため、春闘期に単組は職場オルグを行い、人員配置の実態などの職場点検を実施し、安全衛生委員会での時間外労働状況のデーターなどを活用して、職場に必要な適正人員の確保に向け、交渉を全単組で実施する。

具体的には、単組で次のとおり取り組みを進めることとする。

①安全衛生委員会の活動と連携して、各職場の2022年度の時間外労働の実態を把握し、欠員の現状、職場ごとに業務の実態と不足人員数について職場議論を

行う。

②職場議論を踏まえて職場実態を把握し、必要人員について所属長と交渉を行い、所属長から人事当局への人員確保の必要性について上申を求める。

③単組は自治体当局と、条約定数と実際の配置数の差の把握や、自治体の「定数管理計画」が地域の実情や職場実態を踏まえた計画になっているかなどを協議し必要な人員の確保と、人材を確保するための処遇改善について交渉を行い、6月の人員確保闘争で具体的な成果を勝ち取る。

④単組は、本来常勤職員が行うべき業務について、会計年度任用職員が配置されていないかを確認し、配置されている場合は、常勤職員への移行を求める。

4 政治闘争の推進 地方から政治を変える

自治体職員の労働条件や職務内容は条例で決定することから、政治からの影響が多岐であり、政治闘争の重要性を改めて再認識し、組合員全体の取り組みとして政治闘争を位置づけ、私たちの声を議会に届けるために、統一自治体選挙で職場実態を踏まえた計画になっているかなどを協議し必要な人員の確保と、人材を確保するための処遇改善について交渉を行い、6月の人員確保闘争で具体的な成果を勝ち取る。



県会・神崎郡 上野 英一

県会・垂水区 黒田 一美

このため、県本部は「地方から新たな政治勢力の結集・拡大を進める重要なたたかい」と位置づけ、4月の県会議員選挙を皮切りに執行される各自自治体議員選挙に、組織内予定候補者を推薦決定し、更に1月の執行委員会新たに三木市議選に三木市職前委員長の西垣弘志さんを推薦決定して



県会・宝塚市 橋本 なるとし

県会・川西川辺郡 北上 あきひと

おり、組織内協力議員全員の必勝に向け、単組県本部が一体となって全力で取り組む必要がある。

具体的選挙日程については県会と神戸市会が3月31日告示・4月9日投票、芦屋・宝塚・明石・三木の各市議選が4月16日告示・4月23日、加西は5月、猪名川は9月に行われる予定。

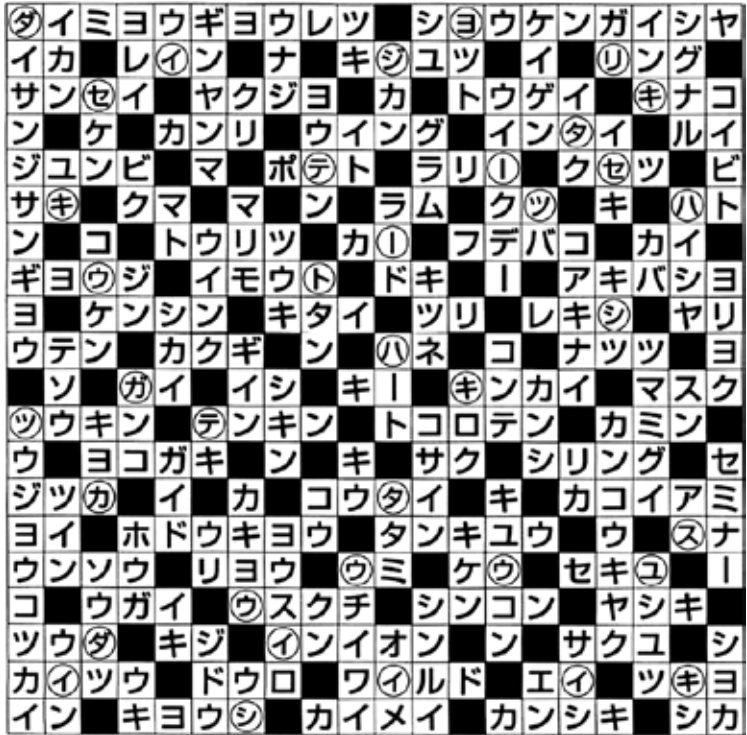


宝塚市議会 梶川 美佐男

明石市議会 よしだ 秀夫

クロスワード当選者発表

答えは「大谷翔平」でした



【5000円商品券】 7人
伊東美奈子さん (社保労連)
遠藤美弥子さん (丹波市職労)
川畑康武さん (神戸市従)
高橋昭憲さん (神戸市従)
辰巳一男さん (尼崎市職労)
立石由起江さん (尼崎市職労)
姫尾恵さん (加西クローバー労組)

【1000円図書カード】 15人
青山純枝さん (兵庫県職労)
石原萌々子さん (国保労組)
宇郷悦子さん (神戸市従)
加藤哲也さん (尼崎市職労)
小林徹さん (八鹿病院職組)
塩谷英和さん (尼崎市職労)
芝山秀晴さん (神戸市従)
園部康栄さん (尼崎競艇労組)
竹中良輔さん (神戸市従)
長田裕二さん (神戸市従)
長野巧さん (神戸市従)
西光利子さん (神戸市従)
野崎律男さん (豊岡市職労)
森本葵さん (たつの市労連)
柳本清恵さん (丹波篠山市職労)

自治ひょうご1月1日号の新春クロスワードクイズへの応募総数は439人でした。パズルを解いて現れた設問は「史上初規定投球回数規定打席を達成した大リーグは？」となり、その答えは「大谷翔平」でした。厳正な抽選の結果、当選者は左記の通りです。当選者へは応募時の住所へ景品を郵送させていただきます。



芦屋市議会 山口 みさえ



神戸市会・西区 かじ 幸夫



神戸市会・北区 伊藤 めぐみ



神戸市会・中央区 よこはた 和幸



県会・宝塚市 橋本 なるとし



県会・川西川辺郡 北上 あきひと



猪名川町議会 井戸 真樹



加西市議会 深田 照明



三木市議会 西垣 ひろし



明石市議会 よしだ 秀夫



宝塚市議会 梶川 美佐男

じちろうマイカー共済

自動車総合補償共済

自治労共済生活協同組合なら

契約者＝組合員で
家族の車も

団体割引32.5%※

掛金体系変更による職域掛金の廃止に伴い割引率を変更
2021年11月更新契約より (新規契約は2021年10月効力開始契約より)

主たる被共済者になれる方

- 1 組合員本人
 - 2 組合員の配偶者
 - 3 組合員の同居の親族*
 - 4 組合員の配偶者の同居の親族*
- * 別居の未婚の子も含まれます。

現在ご加入の保険(共済)の適用等級や過去履歴によっては、契約をお引き受けできない場合があります。

※団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。

団体割引は多くの組合員の利用と安全運転に支えられています。



こくみん共済coop NEWS 5121A014

契約にあたってはパンフレットをご覧ください

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

自治労共済推進本部は「7つの交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

「こくみん共済coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。